

◆ 財団主催のシンポジウム開催のご案内 ◆

一般向けシンポジウム

- ・テーマ:「人生100年時代の“つながり”を支えるICTの力 - 虚弱化、軽度認知症と向き合う -」
- ・開催日時: 2015年11月5日(木) 14:00～17:00
- ・開催場所: MY PLAZAホール(東京都千代田区丸の内2-1-1)
- ・内容:

①講演(仮題)と発表者

- ・「在宅での虚弱や軽度認知症を支えるための取り組みと課題」: 厚生労働省老健局ご担当
- ・「シニア目線で見えた『高齢化・認知症を支える ICTの新しい役割』とは」: 「新老人の会」SSA代表 牧 壮氏
- ・「虚弱の両親をみまもる ICTと連絡体制」: ソフトバンクモバイル(株)プラットフォーム戦略部 担当 課長 徳永 和紀氏

②パネルディスカッション

- ・テーマ:「いかに豊かに年を重ねるためのつながりを支えていくか?」
- ・コメンテーター: 厚生労働省老健局
- ・コーディネーター: 澤岡 詩野(当財団 主任研究員)

お申込み方法については、後日財団ホームページでお知らせいたします。

◆ 学会発表・講演 ◆

(*は財団研究員)

第57回日本老年社会科学大会(6/12～14, 横浜) ポスター発表

- ①石橋智昭*・中村桃美*・塚本成美* (城西大):「シルバー人材センターのホワイトカラー出身会員の希望する仕事; 全国から抽出した36センターの会員情報を用いて」
- ②中村桃美*・石橋智昭*・長田久雄 (桜美林大学大学院)・岡真人 (横浜市立大):「シルバー人材センター会員の地域活動への参加」
- ③安順姫*・兪今*「うつハイリスク高齢者の近所づきあいの経年変化とその関連要因」
- ④澤岡詩野*・渡邊大輔(成蹊大)・中島民恵子(Rutgers University)「都市高齢者の近隣に対する意識と社会活動; 横浜プロダクティブ・エイジング調査から」

シンポジウム

「プロダクティビティと高齢期」にて「シルバー人材センターにおける生きがい就労の現状」を石橋智昭*が講演。

自主企画フォーラム

「リハビリ/機能訓練から社会生活の再構築へ; 介護保険法の改定をふまえて」

企画: 鈴木隆雄(桜美林大学大学院、国立長寿医療研究センター)、司会: 澤岡詩野*、事例提供者: 今井悠人(株式会社ウェルネスフロンティア)・檜山大(ALSOKあんしんケアサポート(株))・上原由美子(横浜市磯子区役所)、指定討論者: 村井千賀(厚生労働省老健局)

第57回日本老年医学会学術集会(6/12～14, 横浜) ポスター発表

池上直己(慶應義塾大)・天野貴史*(慶應義塾大)・石橋智昭*「居宅介護支援事業所とケアプランの質の評価」

第30回日本老年精神医学会大会(6/12～14, 横浜)

兪今*「高齢者の抑うつ症状発症に寄与する危険要因 - 3年間の縦断的研究 -」

第14回日本ケアマネジメント学会研究大会(6/12～14, 横浜) ポスター発表

- ①鳥本靖子*・石橋智昭*「予防給付の地域支援事業への移行に向けた課題; 訪問介護・通所介護の利用者は、他のサービス利用者より軽度なのか?」
- ②小野恵子*(東京医科大)・石橋智昭*「在宅要介護者における訪問看護サービスのアウトカム評価研究」
- ③阿部詠子*(順天堂大)・石橋智昭*・池上直己(慶應義塾大)「アセスメントを活用した介護老人保健施設入所者のケアマネジメント(1); アセスメントを利用したモニタリングの有用性」
- ④阪村智美(医療法人永広会)・阿部詠子*(順天堂大)・石橋智昭*・池上直己「アセスメントを活用した介護老人保健施設入所者のケアマネジメント(2); 事例 A氏のケアプランとモニタリングにおける有用性の検討」

◆(公財)三菱財団の社会福祉事業・研究助成への採択について◆

第46回(平成27年度)三菱財団 社会福祉事業・研究助成に石橋研究部長の「高齢者が支え手側となる『生きがい就業』の有用性検証」が採択されました。事業期間は平成27年10月からの2年間です。

表紙写真について 『北陸新幹線開業企画 北陸の風景』 - 石川県 -

加賀百万石として栄えた石川県には、藩政時代からの伝統や文化を今に伝えるスポットが各地に存在します。なかでも、城下町・金沢には、藩主の居城であった金沢城や、藩庭を起源とする兼六園など、加賀藩ゆかりの場所が随所にあり、多くの観光客でにぎわっています。

市内中心部にある金沢城址は、現存する建造物に加えて菱櫓・橋爪門続櫓・河北門などが復元され、金沢城公園として整備されています。その南側に位置する兼六園では、日本三名園の名にふさわしい美しい情景が四季折々に見られます。藩祖・前田利家公と正室おまつの方を祀る尾山神社は、ギヤマンをはめ込んだ神門が印象的。また、金沢の玄関口・JR金沢駅では、伝統芸能に使われる鼓をイメージして造られた鼓門が、重厚なたたずまいで訪れる人を迎えてくれます。

ダイヤニュース No.73 から毎号にわたって表紙写真をご提供いただいていた井出 昭一氏(ダイヤ高齢社会研究財団 元事務局長)は、6月19日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。井出氏撮影による「スタンドグラスが華やかな建築物」シリーズは、前号をもって最終回とさせていただきます。